

たかつき

地域力

第9回

<発行>

高月地域づくり協議会
広報研修委員会
責任者 山仲秀雄

高月地域のようす
人口
男 5,100人
女 5,181人
合計 10,281人
世帯数 3,262世帯
平成23年
7月1日現在

やっぱり夏のプールは 子どもの笑顔がよくにあう

高月地域内で
学校プール夏休み開放始まる



富永小プール(旧第3プール)で
(いずれも7/25撮影) 古・七小プール(旧第1プール)で 高月小プール(旧第2プール)で

今年もまた、早朝
の学校操の音が聞
こえる。学校の夏休
が始まっている。昨
年の夏は、昨夏合
併により中止され
いたが、保護者と
地域の再開放の努
力により、高月地
域内の三か所のプ
ールに子どもたち
の歓声が戻り、に
やかな夏が過ぎて
いる。子どもたち
の笑顔が、平穩な
日々を感じ、この
未来を託したい。

地域の課題が 一つ解決

高月地域の三か所
のプールは、市町合
併で、学校の体育館
や運動場と同様に学
校プールという学校
管理の施設となり、
夏休みにプールを使
うには、各PTAが
学校に申し出なけれ
ば使うことができな
くなった。
昨年の夏はPTA
にプール管理の経験
がないことから、猛
暑の中子どもたち
はプール水泳がで
きず、大変残念な夏
休みを過ごすこと
になってしまった。



子どもたちの安全を見守る監視員のみなさん

地域づくり協議会
では、今年の夏は子
どもたちにとっても
いさぎよいと思
い、各小学校PTAに
働きかけ、学校も働
きかけ、プール開放
の現に結果、PTA
が行った結果、PTA
が主体となるプール

開放が実現した。
地域づくり協議
会も監視員のお
手伝い
各小学校PTAで
は会長をはじめ役員
が中心となり、保護
者への意向調査や会
議の開催、保護者に
よるプール監視員、
送迎当番など安全体
制づくりの努力の結
果、七月二十五日か
ら八月五日までの土
日を除く十日間の夏
休みプール開放が実
現し、子どもたちの
笑顔を見ることがで
きた。
地域づくり協議会
も地域ぐるみで子
どもを育てるとい
う視点からプール
監視の応援を申し
出、二十八名の協
力により高月プ
ール見守り応援
隊(TPM)を結成し、
三か所のプールで
保護者と一緒に子
どもたちのプール水
泳の安全を見守る
こととなった。
子育ての第一人者
は父・母の保護者で
すが、地域も加わ
って学校とともに、
世を託す子らを育
めることが地域教育
力の高まりと考
える。

地域消防団

長浜市消防団 高月方面隊

地域防災力 その1

地域の防災力で一番身近なものは、災害対応に欠かせない消防組織と各自治会で取り組む自主防災組織です、その現状について報告したい。



防災意識の高い地域
をめざして

長浜市消防団 高月方面隊長

岡島 義孝

私はこの消防団の活動を通して、地域防災力の向上に貢献したいと考えています。高月方面隊は、長浜市消防団の一分団として、地域の防災力を高めるために活動しています。高月方面隊は、長浜市消防団の一分団として、地域の防災力を高めるために活動しています。高月方面隊は、長浜市消防団の一分団として、地域の防災力を高めるために活動しています。



高月方面隊は、現在 団員定員282名・車両3台・小型ポンプ33台を装備

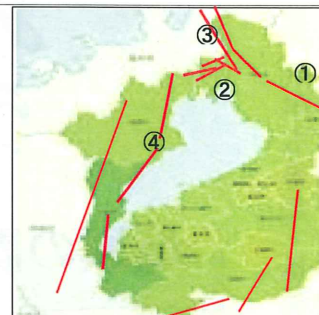
消防団は、地域の防災力向上のために活動しています。高月方面隊は、長浜市消防団の一分団として、地域の防災力を高めるために活動しています。高月方面隊は、長浜市消防団の一分団として、地域の防災力を高めるために活動しています。高月方面隊は、長浜市消防団の一分団として、地域の防災力を高めるために活動しています。

特集 地域力を探る ②

災害に備える 地域防災力

大地震 風水害 土砂災害 豪雨 原発

日本列島の主要な活断層は、東日本大震災以降、遠く離れた地域でも大規模な地震が発生している。高月方面隊は、長浜市消防団の一分団として、地域の防災力を高めるために活動しています。高月方面隊は、長浜市消防団の一分団として、地域の防災力を高めるために活動しています。高月方面隊は、長浜市消防団の一分団として、地域の防災力を高めるために活動しています。



高時川・琵琶湖・余呉川氾濫する危険も持っている。高月方面隊は、長浜市消防団の一分団として、地域の防災力を高めるために活動しています。高月方面隊は、長浜市消防団の一分団として、地域の防災力を高めるために活動しています。高月方面隊は、長浜市消防団の一分団として、地域の防災力を高めるために活動しています。

●自主防災組織と防災訓練

自治会名	組織有無	訓練計画
1 井口	○	○
2 持寺		○
3 洞戸		○
4 高月尾山		○
5 保延寺	○	○
6 雨森	○	○
7 高野	○	○
8 新井口	○	○
9 柏原	○	○
10 新柏原		○
11 渡岸寺		○
12 落川		○
13 馬上	○	○
14 森本	○	○
15 高月	○	○
16 宇根	○	○
17 東阿閉	○	○
18 東柳野		○
19 柳野中	○	○
20 西柳野	○	○
21 重則		○
22 松尾		○
23 高月西野	○	○
24 熊野	○	○
25 片山	○	○
26 西阿閉	○	○
27 高月東高田		○
28 高月布施		○
29 唐川	○	○
30 横山		○
31 東物部	○	○
32 西物部		○
33 磯野		○
	19	30

：自主防災組織に関する実態調査

19自治会で自主防災組織を結成

高月地域には現在三十三自治会があるが、そのうち十九自治会が、自主防災組織を結成している。自主防災組織の結成率は、平成十七年の調査で、高月町は、住民の防災意識を「非常に高い」と感じており、多くの自治会長は、自主防災組織の結成を「必要だ」とし、自主防災組織を結成している。今年も三十自治会が、地震を想定した避難誘導など計画している。

「災害は忘れたころにやってくる」とい

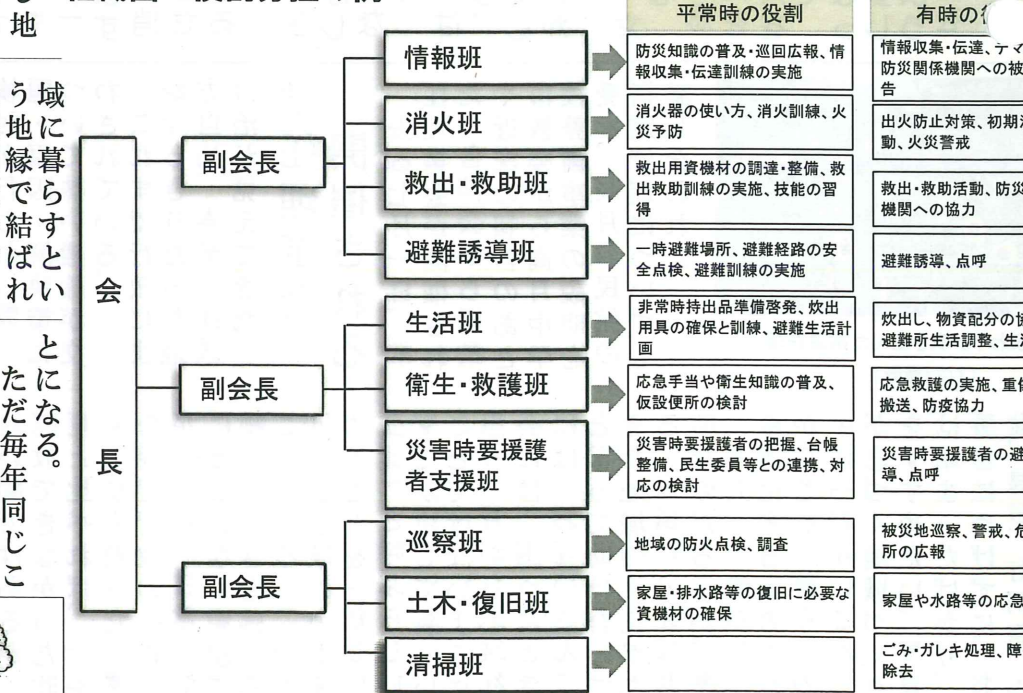
■自治会の防災訓練への参加状況

	自治会数	割合
a. ほとんどの人が参加している。	8	25.8%
b. 7～8割の人が参加している。	14	45.2%
c. 半分位の人が参加している。	6	19.4%
d. 3～4割の人が参加している。	1	3.2%
e. 参加者が少ない。	2	6.5%
	31	

：自主防災組織に関する実態調査

い。ものではない。自主防災組織は、毎年の防災訓練、災害時の避難誘導、火災の発生時の初期消火活動など、地域住民の安全・安心を守るために必要とされている。

組織図・役割分担の例



地域に暮らす人々の安全・安心を守るために、自主防災組織は、平時から防災意識を高め、災害時の対応力を高めることが重要です。今年も、多くの自治会が、地震を想定した避難誘導など計画している。

「災害は忘れたころにやってくる」とい

自治会組織

自主防災組織

地域防災力 その2

本記事は、総務省消防庁刊行の「自主防災組織の手引」および滋賀県防災危機管理事務局刊行の「自主防災組織活動マニュアル」を参考に作成している。

住民による自主防災組織の活動は、大きな役割を果たしている。今年度の東日本大震災の影響で、防災意識が高まり、多くの自治会が、自主防災組織を結成している。自主防災組織は、平時から防災意識を高め、災害時の対応力を高めることが重要です。

地域の絆を確かなものにするために

自主防災組織の必要性と役割

地域の絆を確かなものにするためには、自主防災組織の結成と活動が重要です。自主防災組織は、平時から防災意識を高め、災害時の対応力を高めることが重要です。また、地域の住民と協力し、災害時の対応力を高めることが重要です。



災害時も自分達の地域は自分達で守る準備を

高月連合自治会長 高橋義達

梅雨が明け、また暑い夏が始まりました。今年度も、多くの自治会が、自主防災組織を結成しています。自主防災組織は、平時から防災意識を高め、災害時の対応力を高めることが重要です。また、地域の住民と協力し、災害時の対応力を高めることが重要です。

寄稿 私も一言

元々の高月の『絆』を大切に

前高月町副町長

田中 久二



高月の皆さん、こんにちは。平成十九年四月から平成二十一年十二月まで旧高月町の副町長をさせて頂きました田中です。現在、『讃岐の国』香川県丸亀市にある農政局四国土地改良調査管理事務所に勤務しています。早いもので、市が合併してから一年が経過し、新長浜市としての旧高月町域での活性化に腐心されています。私がお考えの副町長をさせて頂いた二年九ヶ月は、今、思いのこせば、一市六町の合併協議、高

月学園構想や都市計画マスタープランの策定に忙殺されていたようですが、旧高月町の方角付けをキチンと行うことができず、高月を去ることとなり、申し訳ない気持ちで一杯でした。今年の三月に「高月地域づくり協議会」が設立され、高月の「地域づくり」が本格化してまいります。また、昨年度「高月地域まちづくりプラン」も策定され、地域の活性化に努めるためのプラン実現になります。震災が起これば、三月に東日本大

と人の『絆』の大切さが再認識され、第一に、これからの時代に地域を守るには、元々高月にある『絆』を守つていくことが大切であると思います。なかなか「地域づくり」は難しく、考えがちですが、以前、農林水産省の何かのコーラムに、「農地や森が存在し、そこに暮らす人びとが農業（生産活動）を通じて、農地を適正に管理しながら、安心で安全な地元食材を存分に取り入れ、地域の文化を継承していくことが持続していく地域、それが「私が想い描く農村の姿」である。」と書いた

ことがあります。このような考えの身近な例として、「地産地消」ということで、最近、学校給食などに地元食材が随分使われるようになってきました。地域の伝統料理をアレンジしたものも出てきています。これも「地域づくり」の一つかなと思います。また、一時期姿を消した田舎の「生きもの」などが復活するなど、色々な「宝物」が発見されてきているような気がします。金太郎飴にならない「地域づくり」を行うためには、この宝物を発見し、それを育てていくことが大切ではないかと高月には歴史・文化を含めて様々な「宝物」があると思います。大切に育てて高月を大切に育てて高月をさらに元気にして、その元気が核になって長浜市全体が少しでも元気になるような「地域づくり」を期待しています。

地域づくり計画策定作業

各部署で地域の課題について熱論！

計画策定作業に取り組みむ五つの部会では、五月以降何度でも部会を開催し、担当とする地域課題の検討が行われ、問題・原因・解決策について熱い議論が交わされていく。これまで行政にまかせっきりだった地方自治、本来の住民自治が見えてきた。

常任理事会開催される

去る七月一日、常任理事会が開催された。各部署から活動や近況の報告のあと、市教委から高月中学校整備事業の説明を受け、高月公民館の指定管理についても話し合われた。



ひまわりが咲き並んだ国道花壇 (7/23撮影)

結集後記

入るのも明けるのも早い今年の梅雨、その分酷暑の夏が長いのだろうか。電力の供給不足で節電の夏となり、暑さが倍増しそうですね。プール開放が実現した、実質十日間と短い間ではあるが、開放できなかった昨夏と比べれば、一歩も二歩も前進だ。▼合併で行政の仕組みが変わり、日常生活にどことなく窮屈なことがある。この不足感を地域の力で埋めることを「新しい公共」と呼ぶらしい。▼だが決して新しいことではないように思う。昔から地域社会には「お互いさん」と言っている文化がある。今風に言えば「互助の心」だろうか。▼人々との繋がりが希薄化する世の中だからこそ、暮らしの中に「お互いさん」が息づく地域づくりをすすめた方がいい。▼夏は始まったばかり、暑さにめげずに、お盆、縁日、灯明祭。今年の夏を楽しもう。